

株主の皆様へ	1
決算ハイライト	2
上期トピックス	4
NRIプロフェッショナル	6
株主の皆様へのアンケート結果のご報告	7
お知らせ/株主メモ	8



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による先行きが不透明な状況が続いているものの、世界経済の持ち直しやワクチン接種の進展を背景に、徐々に回復基調となっています。情報システム投資については、デジタル技術を活用したビジネスプロセス及びビジネスモデルの変革を行うDX(デジタルトランスフォーメーション)を中心に企業の投資需要が活況を呈しています。

このような環境の下、上期の決算発表では、今期の業績予想を上方修正し、「NRIグループ中期経営計画(2019-2022)」の3年目(今期)において営業利益目標の前倒し達成を見込んでいます。

また、資本効率向上のための株主還元施策として、2022年3月期の1株当たり配当金を40円へ増配する予定です。

NRIグループは、より一層の事業の拡大に取り組むとともに、中期経営計画に掲げた成長戦略を進め、引き続き持続的な利益成長と株主還元の両立に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2021年11月
代表取締役会長兼社長

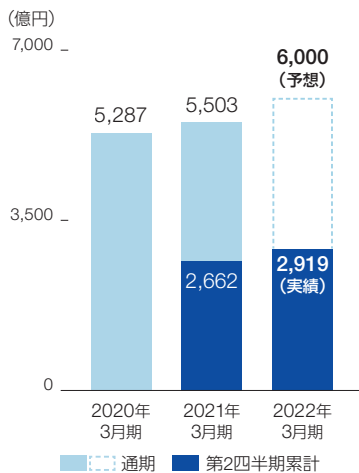
此本 臣吾

決算のポイント

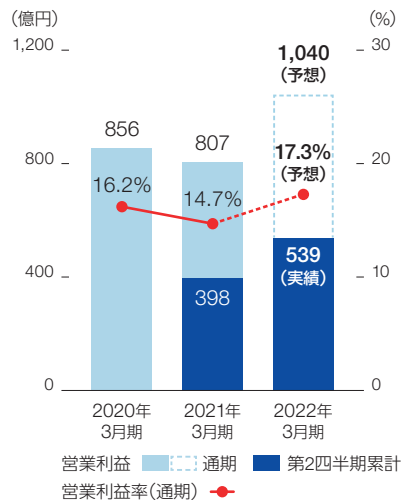
- POINT 1** 売上収益は、DX(デジタルトランスフォーメーション)関連ビジネスの拡大、豪州の新規連結子会社などが寄与し、2,919億円(前年同期比9.7%増)となりました。
- POINT 2** 営業利益は、全てのセグメントでの増収効果、豪州事業の利益貢献などが寄与し、539億円(同35.2%増)となり、営業利益率は18.5%(同3.5ポイント増)となりました。
- POINT 3** 親会社の所有者に帰属する四半期利益は、365億円(同43.8%増)となりました。

	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計	増減額	増減率
売上収益	2,662億円	2,919億円	+257億円	+9.7%
営業利益	398億円	539億円	+140億円	+35.2%
営業利益率	15.0%	18.5%	-	+3.5p
親会社の所有者に帰属する四半期利益	253億円	365億円	+111億円	+43.8%
基本的1株当たり四半期利益	42円	61円	+18円	-

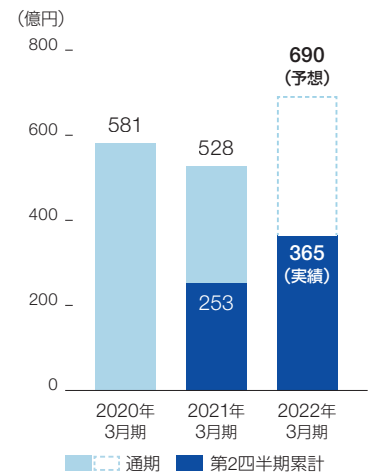
売上収益



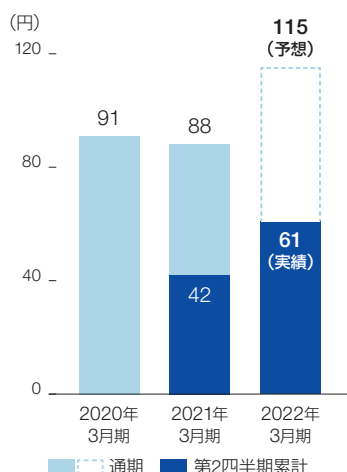
営業利益/営業利益率(通期)



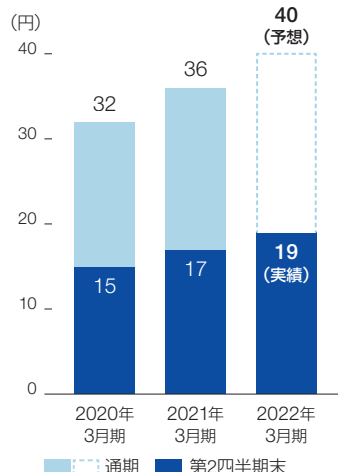
親会社の所有者に帰属する四半期(当期)利益



基本的1株当たり四半期(当期)利益



1株当たり配当金



(注) 1. 記載金額は、億円未満(基本的1株当たり四半期(当期)利益及び1株当たり配当金は円未満)を切捨てて表示しています。

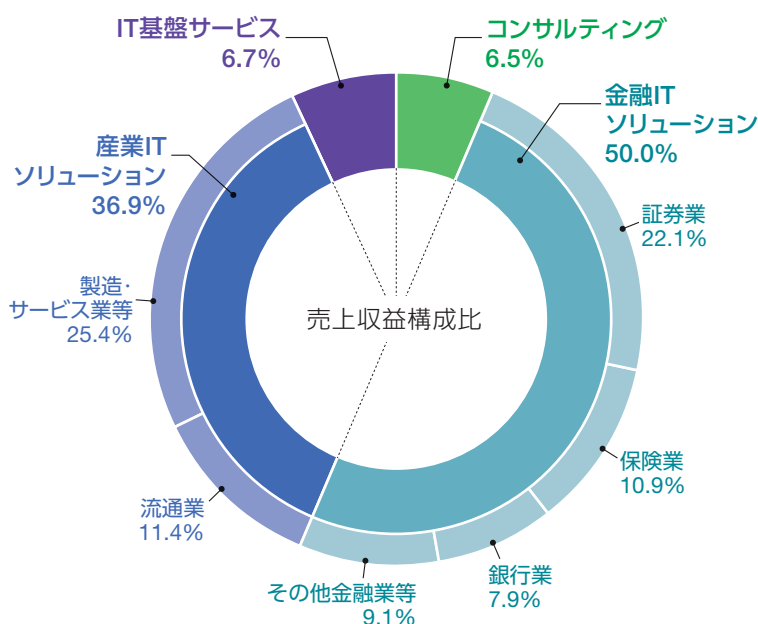
2. 2022年3月期通期予想は2021年10月27日に発表したものです。業績予想は当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

3. 当社は2019年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行いました。基本的1株当たり四半期(当期)利益及び1株当たり配当金は、2018年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定して調整を行った値を記載しています。

セグメント業績のポイント

- POINT 1** コンサルティングは、民間企業を中心としたDX(デジタルトランスフォーメーション)関連案件や海外向けコンサルティング案件が増加し、売上収益、営業利益ともに増加しました。
- POINT 2** 金融ITソリューションは、証券業向けシステム開発案件や運用サービスの増加、豪州の新規連結子会社などが寄与し、売上収益、営業利益ともに増加しました。
- POINT 3** 産業ITソリューションは、物流業向け及び小売り・商社向けシステム開発案件の増加、海外子会社の収益性回復や豪州の新規連結子会社などが寄与し、売上収益、営業利益ともに増加しました。
- POINT 4** IT基盤サービスは、情報セキュリティ事業が寄与し、売上収益、営業利益ともに増加しました。

セグメント別外部売上収益(2022年3月期第2四半期累計)



売上収益前年同期比較

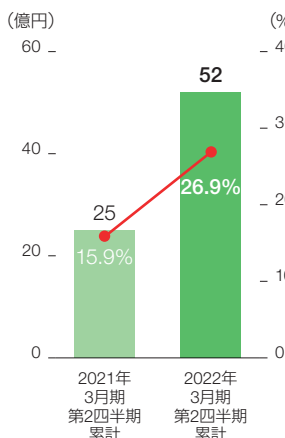
(億円)	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計	前年同期比
コンサルティング	154	188	22.3%
金融ITソリューション	1,416	1,458	3.0%
証券業	635	644	1.5%
保険業	300	318	6.1%
銀行業	249	229	△8.0%
その他金融業等	231	265	14.9%
産業ITソリューション	910	1,076	18.1%
流通業	308	333	8.1%
製造・サービス業等	602	742	23.3%
IT基盤サービス	180	196	8.8%
合計	2,662	2,919	9.7%

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

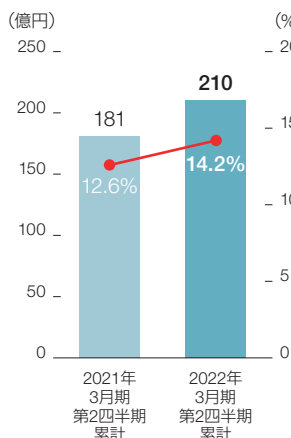
セグメント別損益(第2四半期累計)

営業利益 ■ ■ ■ ■
営業利益率 ●

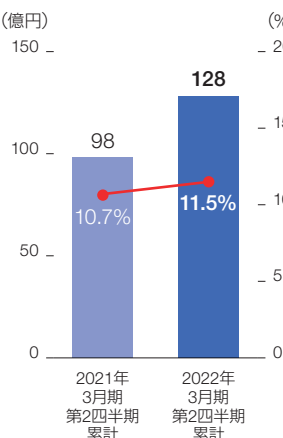
コンサルティング



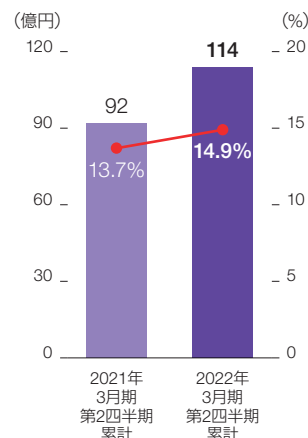
金融ITソリューション



産業ITソリューション



IT基盤サービス



(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

建設業界のDXを支援する「EARTHBRAIN」発足



2021年9月、株式会社小松製作所、株式会社NTTドコモ、ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社、NRIは、建設業界にDX(デジタルトランスフォーメーション)をもたらし、安全性、生産性、環境性の飛躍的な向上を実現することを目的に、新会社「株式会社EARTHBRAIN(以下、EB社)」を発足させました。

就業者の高齢化や労働者人口の減少といった日本国内の建設業界が抱える社会課題や、新型コロナウイルスの感染拡大により、建設現場における働き方改革が求められています。

EB社は、デジタル技術を駆使し、小松製作所が提供していた「スマートコンストラクション」のさらなる高度化を図ります。NRIはビジネスモデル変革・デジタル化への知見を活かしたシステム開発やサービス提供を行い、建設業界のDXを支援します。

証券営業員の働き方の多様化に寄与する「STARモバイルサービス」を開始 ～電子的なサイン手続きにより、外交先でもデジタル化を推進～

証券営業員が社外で営業活動を行う際に必要な各種情報の入手や手続きをモバイル端末で行える「STARモバイルサービス」の提供を開始しました。その特徴は以下の通りです。

サービスの 特徴

- 証券営業に必要な情報をモバイル端末から入手
- 電子的なサインによるお客様との合意に基づき、各種手続きや注文を実行
- 高度なセキュリティ対策で情報管理を強化

本サービスを用いることで、お客様にとっては、手続きのために来店する手間を軽減できます。証券営業員にとってはオフィスに戻っての事務処理が不要となります。加えて、店舗外や在宅での勤務が容易になるなど、ニューノーマル(新常态)時代の営業スタイルの変革に寄与します。



「NRI未来創発フォーラム2021」を開催



講演するNRI代表取締役会長兼社長の此本

2021年10月13日、「デジタルが拓くポストコロナの未来像」と題し、東京国際フォーラム及びウェブによるライブ中継にて「NRI未来創発フォーラム2021」を開催しました。

基調講演では此本が、ポストコロナ時代におけるリアルとデジタルの融合、新しい働き方、ビジネスモデルの変革、そして脱炭素化と社会変革の姿などを展望し、ポストコロナ時代に向けた企業や国・地方自治体の役割について提言しました。また、特別座談会では、持続可能な社会実現の要請に応えつつ、日本企業はいかにしてポストコロナ時代のビジネスモデルを構築していくのかについて議論が行われました。

豪州で新たに2社を子会社化し、コンサルから運用・基盤サービスを推進

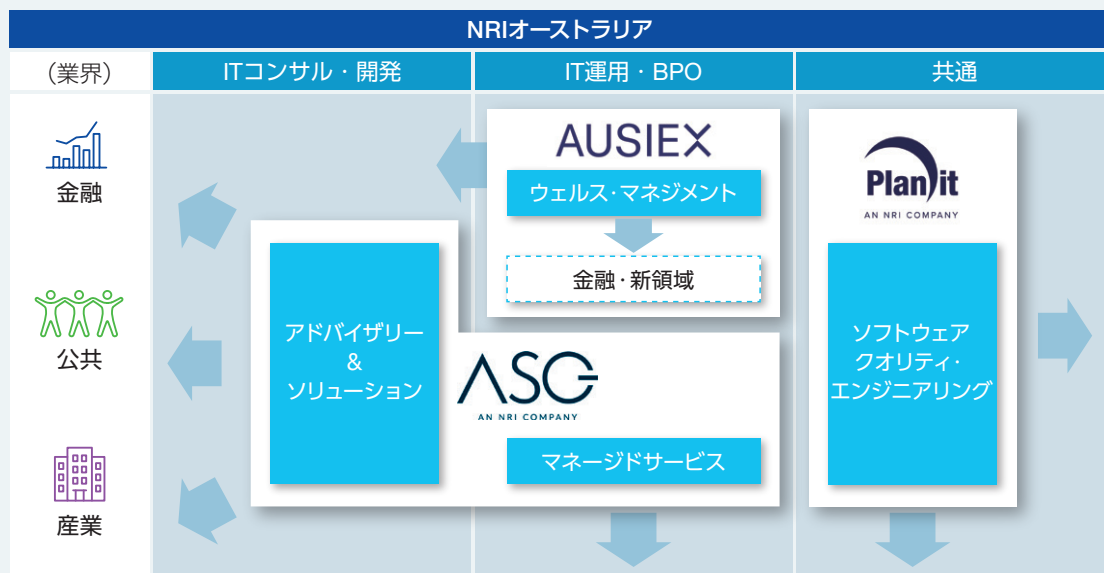


NRIはグローバル戦略を中期経営計画の成長戦略に掲げ、長期的な視点での取組みを進めています。NRIは高付加価値の領域に軸足を置いていることから、一定の成熟度に達した先進国の中で、人口増加率とIT市場の成長率が高い豪州に重心を置いた展開を進めています。

2016年にNRIグループに迎えたASGは、コンサルティングサービスとITソリューション、マネージドサービスを一貫して提供する企業体へと成長しました。最近では、西オーストラリア州における教育のデジタル化を支援する取組みを開始しています。

NRIはさらに、長期的な成長が見込まれる豪州の富裕層向け市場において、証券取引管理やポートフォリオ管理といったバックオフィスサービスを提供するAUSIEX社、そして、ITテスト企業としてオセアニア地域で最大の規模を誇るPlanit社の2社を2021年5月に子会社化しました。いずれも、高付加価値サービスの提供という点でNRIと共通の価値観を有しています。

これにより、豪州地域を統括するNRIオーストラリアの下でITコンサルティングから開発、運用・BPO、ITインフラストラクチャーを金融・公共・産業分野において一貫して提供するビジネスモデルの構築に向けて大きく前進しました。2021年8月末時点で、NRIオーストラリアは傘下の3事業会社をあわせて約3,500名の体制となり、豪州市場における存在感を高めつつあります。



約600億円の自己株取得を実施

資本効率向上の施策として、2021年6月22日から9月22日の期間で、取得価額総額を約600億円とする自己株式の公開買付けを行いました。

未来の医療サービスをより良くする 「バリューベース・ヘルスケア」

ヘルスケア・サービスコンサルティング部 | 松尾 未亜
グループマネージャー

私は、医療・ヘルスケアのビジネスに関わる企業において、経営層の意思決定をご支援し、またその後の企業のなかでの合意形成や現場の巻き込みを伴走しながらご支援しています。最近では、医療業界が抱える課題を解決するために、医療従事者の客観的な視点に加えて、患者の意見や、医療を必要とする前の予防や予後にも積極的に介入する「バリューベース・ヘルスケア」の可能性に注目しています。

バリューベース・ヘルスケアは、医療やヘルスケアに関わる膨大な情報を分析する取組みを通じて、医療サービスの効果を効率的に高めることを狙いとしています。この取組みには、5種類の関係者のかかわりが必要不可欠であり、それらは、医療機関、医療従事者、市民、政策の立案者及び保険事業者から成ります。まさに、医療の課題解決がいかに複雑であるかを物語っています。バリューベース・ヘルスケアのコンサルティングを通じて、活力ある未来社会づくりに貢献しています。



NRI Voice
https://www.nri.com/jp/voice/1st/2021/0202_1



NRI PROFESSIONAL

NRIプロフェッショナル

AI(人工知能)と量子コンピュータを 掛け合わせ新たな価値を創出する

プラットフォームサービス | 大野 真一郎
開発統括部

私は、入社以来、金融・保険業向けのシステム構築案件を担当してまいりましたが、近年は企業におけるデータ活用の背景で、お客様のDX推進・実行に向け、これらのシステムに蓄積されたデータを用いたAIの開発・適用支援を担当させていただいております。

特に、AI開発のプロセスを自動化する「AutoML」と呼ばれる機械学習技術や、近年注目を集める量子コンピュータ技術を含む数理最適化技術を活用した案件に従事しています。

例えば、お客様がお持ちの営業履歴データとAIにより、来月に売り上げが見込める訪問先の予測が可能です。さらに、お客様からは、「その予測に基づき、訪問ルートや営業員のシフト等を最適化し、さらに効率性を増すことができるか」といったご要望をいただきます。機械学習により未来を予測し、その予測を数理最適化することによってありたい姿に近づけることで、このような高度なご要望にもお応えできます。

今後も、機械学習と量子コンピュータを含む数理最適化を組み合わせ、お客様の経営資源の有効活用を通じた最適社会の共創に貢献してまいります。



NRI People
https://www.nri.com/jp/people/1st/ips/shinichiro_ohno

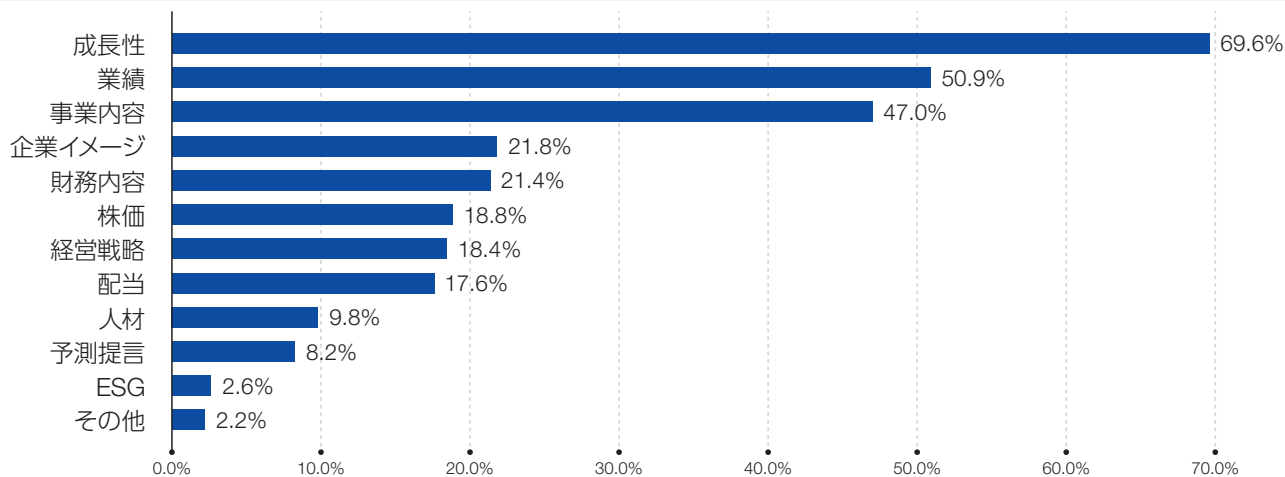


株主の皆様へのアンケート結果のご報告

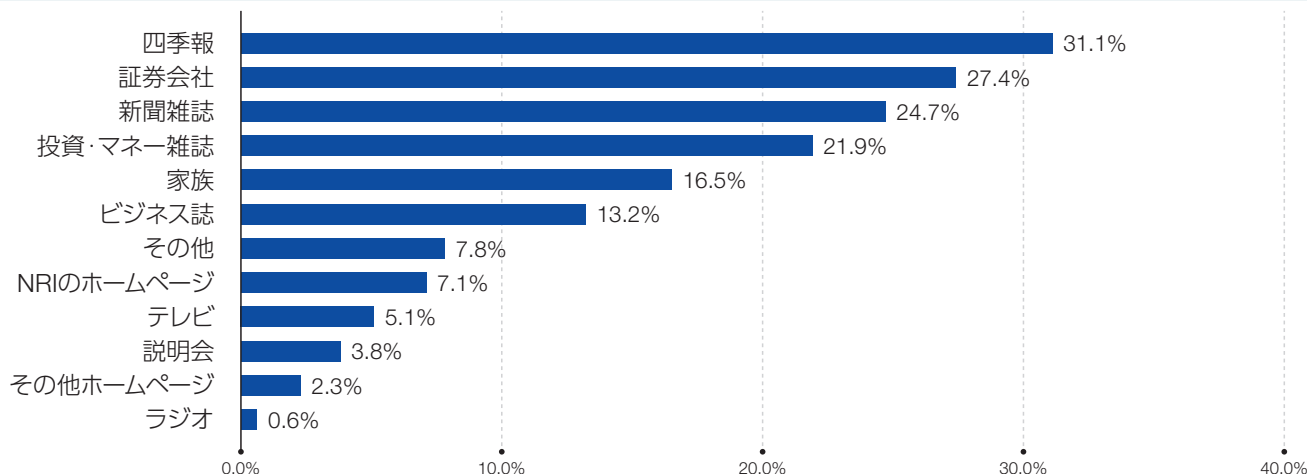
「NRIだより2021年3月期」アンケートにご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。主な集計結果をご報告いたします。

有効回答数：4,139名 回答率：28.5%

Q NRI株式購入にあたり、NRIのどこに魅力を感じましたか？（いくつでも）



Q NRI株式購入のきっかけになった情報源を選んでください。（いくつでも）



アンケートへのご回答をお願いいたします

今回のNRIだよりもアンケートを同封しております。株主の皆様のご意見をお聞きし、経営やIR活動の参考にさせていただきたいと考えております。ご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

2021年12月31日までにご返送いただいた方には、外出時のメモ帳として便利にご利用いただける「測量野帳」をお送りします。なお、回答者多数の場合には、やむなく代替の品をお送りすることがございますが、あらかじめご了承ください。



ポケットサイズで持ち運びに便利な「測量野帳」

個人投資家説明会を開催（2021年9月29日）

2021年9月29日にオンラインによる個人投資家説明会を開催しました。

NRIでは個人投資家の皆様に当社の事業内容や取組みを知らせていただくために、毎年説明会を実施しています。今後もオンラインなどを活用し、個人投資家の皆様に向けた情報発信を行ってまいります。

当日の資料及び動画はウェブサイトよりご覧いただけます。
<https://ir.nri.com/jp/ir/individual/briefing.html>



「ディスクロージャー優良企業」を受賞



ITサービス・ソフトウェア部門及び 個人投資家向け情報提供部門の2部門で 「ディスクロージャー優良企業」を受賞

2021年10月、NRIは、公益社団法人日本証券アナリスト協会より、情報開示のさらなる進展のための模範となる企業として、ITサービス・ソフトウェア部門及び個人投資家向け情報提供部門における「ディスクロージャー優良企業」に選定されました。

今後とも、NRIは投資家の皆様に対し、充実した情報を、広く公平に開示するよう努めてまいります。

統合レポート2021のご紹介



NRIの事業活動を包括的に記載した「統合レポート2021」を発行しました。

トップメッセージでは、NRIらしい社会価値の共創や企業理念「未来創発」の実践についてわかりやすくご紹介しています。NRIの変わらぬ価値共創のあゆみ、NRIの競争優位性、成長戦略、ESGの取組みなどの情報を掲載しています。



統合レポート2021

<https://ir.nri.com/jp/ir/library/report.html>



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
公告方法	電子公告(公告掲載URL http://pn.nri.com/) ただし、事故その他のやむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
配当受領株主 確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人 及び特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (郵送先) (電話照会先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	4307

株式会社野村総合研究所

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2
大手町フィナンシャルシティ グランキューブ
TEL 03-5533-2111 <https://www.nri.com/jp/>



株式に関するお問い合わせ

- 届出住所・姓名などのご変更
- 配当金の受領方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取請求



口座を開設されている証券会社へ
お問い合わせください。

- 特別口座に関するご照会
- 郵送物の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- その他株式事務に関する一般的なご照会



三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部へ
お問い合わせください。
電話照会先は左記をご参照ください。